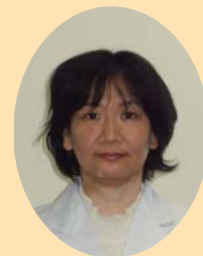


ペインクリニックのこと

ペインクリニックについて紹介を、とお話をいただきました。都会ではまあまあ認知されているのですが、当地では知名度が低く、外来に来た患者さんに何をするとおっしゃるか、と質問されることもよくあります。(聞いただけで帰って行った方もいました。別に痛いところがあった訳ではなかったようです。)

ペインクリニックは、身体のあらゆる部位の痛みを治療対象としています。



がん診療連携センター
内藤 京子

原因疾患が明らかであればまずその治療を受けることが第一で、原因疾患が治療しているのに痛みだけが続く場合や、原因が分からない痛み、長期間改善しない痛みがある場合に受診されるので、他科からの紹介で受診される方がほとんどです。

治療手段としては神経ブロック治療、薬物療法、認知行動療法などを組み合わせて用いています。

慢性痛は心因性の要素が急性痛に比べて大きく、難治性になりがちです。「この痛みだけ取ってくれたら」と良く言われるのですが、なかなかそう都合良く取れる痛みばかりではありません。痛みというものは取れない場合もあること、痛みの程度を下げるお手伝いをするので社会復帰をして欲しいことを繰り返し説明しています。痛みをネガティブに捉え、この痛みが取れなければ何も出来ない、これさえなければ、という思考を痛みの破局的思考といいます。それに陥り抜け出せない方は難治性です。心因性の要素が大きい痛みとして、舌痛症と肛門痛があり、入り口と出口がなぜ心因性に痛むのか、不思議です。

私自身は緩和ケアメインで活動しているのですが、ペインクリニック外来を開設している理由は、罹患直後の疼痛治療が出来たかどうかで運命の分かれ目になる帯状疱疹後神経痛で悩む方を減らしたいことと、ややもすれば厄介者扱いされがちな心因性疼痛の方のお役に立てれば、ということで細々と診療しています。

フレッシュな帯状疱疹で痛み訴えが強い方がおられましたら、是非ご紹介いただければ幸いです。

緩和ケアともども、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



紀南病院院内保育所庭に咲いた
白い曼珠沙華

抗がん剤を取り扱う危険性と クローズドシステムについて



薬剤部主任
栗原 稔男

抗がん剤は、何らかの形で細胞の複製を邪魔することでその作用を発揮します。しかし、そのターゲットは病気になった細胞のみならず、正常の細胞にも作用してしまいます。では、その抗がん剤を我々が業務上取り扱うという事は、健康上の被害が無いと言い切る事が出来るのでしょうか？

医療従事者の抗がん剤取り扱い上の危険性について調べてみると、1979年フィンランドのFalckにより、業務上の抗がん剤による汚染(職業曝露)がはじめて報告されたことによって注目されました。この報告は、抗がん剤を取り扱う看護師の尿から変異原性物質が検出されたというものでした。1980年代の初期には、抗がん剤を取り扱う看護師に染色体断裂や姉妹染色分体交換頻度が高くなることや調製時に頭痛やめまいなどの症状が生じていることが報告され、これ以降、続々と職業性曝露についての報告がなされるようになりました。

1987年世界保健機構(WHO)の国際がん研究機関(IARC)は、ヒトに対する発がん性が認められた化学物質の危険度リストを発表し注意喚起をはじめました。また、2004年には米国NIOSH(国立労働安全研究所)が、医療環境での抗がん剤と危険性薬物への職業上の被曝防止について勧告を行い、抗がん剤を取り扱う医療従事者の安全性を考慮した抗がん剤の取り扱いに関する各種ガイドラインが制定され、安全キャビネットや個人防護具、さらには閉鎖式薬物混合器具(クローズドシステム)の使用が推奨されました。

我が国でも、1991年に日本病院薬剤師会により『抗悪性腫瘍剤の院内取扱い指針』が作成され、その後1994年と2005年に改訂されました。また、2008年には『注射剤・抗がん薬無菌調製ガイドライン』が策定され、安全性を担保する考え方や無菌混合の操作方法等について、すべての医療従事者が習熟するための指針が示されるとともに、クローズドシステムを推奨していますが欧米のガイドラインのように法的規制力が無いことが問題点とされてきました。しかし、ようやく本年5月29日厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課長名で、こうした曝露対策の徹底が通知されました。

当院ではがん専門委員会・がんセンター運営委員会でクローズドシステムの導入を決定いただきました。当時国内には3つのクローズドシステムが販売されていて、「揮発した薬剤を逃がさないのはPhaSeal®だけ」という米国のユタ大学の研究発表に基づき現行のシステムを選定いただきました。

当院のクローズドシステムの使い方は、概ね聖路加国際病院と同じやり方になっています。何故か紀南病院モデルとして他院の参考とされているようですが、パーフェクトというわけではありません。より高みを目指して研鑽を重ねて参りたいと思いますので、今後とも御指導御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

研修医日記



研修医
岡 利樹



こんにちは。研修医1年目の岡利樹と申します。何について書こうかと考えても一向に題材が思い浮かばず、同期に相談しても「愛のポエムでも書いたら？」とろくな答えが返ってこなかった。例にならってこれまでの半生を振り返りながら自分の性格を分析してみたいと思います。途中余裕があれば愛のポエムもはさんでいきたいと思います。

「小学校入学まで」

1988年11月4日、大阪府東大阪市で生を受けました。東大阪市は、駅前に常時ヤンキーが駐在していたり、爆竹の音が子守唄だったり、僕が思うに（岸和田、天王寺に次いで）大阪で3番目に怖い街ですが、中小企業が盛んだったり人工衛星を打ち上げてしまったりと、良くも悪くも元気な街だと思います。僕はどうだったかと言いますと、公文式にピアノという英才教育を受けさせていただき、超心配性で教育熱心な親のもとすくすく（ぬくぬく）と育ってきました。どちらもそれなりに頑張っていたらしいですが、ことスポーツに関しては何をやらしても駄目だった、と早くもこの段階で運動音痴の烙印を押されていたわけです。幼稚園の時から体が小さいにも関わらず、目立ちたくて仕方がない性格だったので、よくクラスのヤンキー達の攻撃的になっていました。

「小学生」

基本的に体が小さいのに目立ちたいというスタンスは変わりません。公文式で培った知識をフル活用し、授業中の先生の質問に手を挙げて答える、ということで体格と運動神経に恵まれない僕でも目立ちたい欲を満足させることが出来ていました。しかし、人間とは欲深い生き物で、それだけでは満足出来なくなります。先生が説明している時に「そんな知ってるし」と合の手を入れてみたり、自分が当ててもらえず他の人が当てられて答えられなかった時には「そんなことも分かんのか？」と茶々を入れてみたりと、持ち前の性格の悪さを如何なく発揮することになります。

「体が小さい+目立ちたがり+鬱陶しい=いじめの対象」

となりそうなものですが、幸い友達に恵まれたのか、いじめられることはあまりありませんでした。

「中学生～高校生」

こんな僕も中学生になります。流石に運動しないと、とのことで野球部に入ることになります。そこで他の追従を許さぬ圧倒的な運動神経を見せつけることになります。まず、入部時のソフトボール投げ。結果3m.300cm.3×10³mm。だってボールなんか投げたことないもん。しかしここは公文式で培ったとっさの判断力で窮地を乗り越えます。投げる時にこけた振りをしたのです。「あー、こけへんかったらもっと飛んだのになあ。」言ってみようよ。どうせ入部したらすぐばれるのに。他にも、ボールがキャッチ出来なくてキャッチボールがドッチボールになっていたり、200m程のジョギングでしんどくて動けなくなったり。これほど自分が情けないと思ったことはありませんでした。しかし、それなりに練習し、野球のボールは70mくらい投げられるようになりました。内野ゴロは取れません。怖い。フライも取れません。首痛いです。またこの時期は、他の中高生同様、厨二病全盛期でした。教室に入ってきた悪者を華麗に退治するというありがちな妄想は500回くらいしたと思います。男子校だということに誰にいいところを見せたかったのでしょうか。

「大学生」

今まで全く女っ気のない暮らしをしてきた僕にとっては衝撃でした。同じ教室に女の子がいる！同じ部活に女の子がいる！当然萎縮して話しかけることが出来ず、結局しばらくまた女っ気のない暮らしを余儀なくされることとなります。まあ、大学生活は特に変わったことはなかったと思います。勉強・バイト・部活・合コン・留年・旅行と一般的な男子大学生のテンプレのような暮らしをしていた気がします。

と、こんな半生を送って参りました。4月のサザンクロスで自己紹介のところに「性格の良さには自信があります」と書いたのは反省してます。うそでした。ごめんなさい。こんな僕ですが、これからも謙虚に頑張っていきたいと思いますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

地域医療連携だより

内科学について

紀南病院関係者の皆様には日頃から大変お世話になり心より御礼申し上げます。このたび病院広報誌への投稿の機会をいただきました。内容は特に問わないとのことですので、考えていることを、自由に書き綴ってみたいと思います。

私が従事している主な診療領域は内科です。最近は診療科が多くの専門科に細分化されているので、内科ではどんな診療をしているのと質問されることが多くなっているように実感しています。そこでこの内科について改めて考えてみました。個人的な考えですが一度説明をさせてください。

内科では体の不具合を、全身諸器官のつながりを重視し診断治療を展開していきます。既往歴、治療中の疾患、その他諸々の背景から現在の症状の成り立ちを推測して診断を行い、必要な治療を選択します。時には治療や診断に際して特別で高度な技術を要求されることもあります。その時はこの方のこの部分の不具合を治療していただけないかと内科以外の医師にお願いしたり相談したりすることもあります。



えのもと内科クリニック
えのもと むねひろ
院長 榎本 宗浩



広い範囲の知識をもつことは内科医にとって大切な日々の務めとなります。蓄積した知識を基礎に詳細なお話(病歴)をまとめた後、これまでの臨床経験に現在の病状をあてはめていく診断に厚みを増すためにも重大で、やりがいのある作業です。

海外では家庭医という分野が存在します。日常生活に着目した疾病の予防、治療薬の服薬相談から、高次専門病院との連携に至るまで細部にわたる療養を担当する医師です。日本では内科医が担当していることが多いと思われます。

疾患の治療とともに、普段の健康づくりのためのサポーターとして、病気を大事に至らぬよう未然に防ぐことにも重きをおく内科医を改めてみなおしていただき、受診の参考にしてみてください。



New face さ〜ん



【医師】

- ① 出身地
- ② 趣味(特技・得意技)
- ③ 一言アピール
(敬称略)



《血液浄化センター》

これえだ だいすけ
是枝 大輔
①和歌山市②バドミントン③2
度目の田辺勤務となりました。
精一杯取り組みますのでよろしく
お願い致します。



《血液浄化センター》

みなかた ともかず
南方 大和
①和歌山市②マラソン・スキー・水泳・
サーフィン③駆け出しの3年目です。名
前が『大和』なので『やまと』と呼びつ
けて下さい。(本当はともかずですが)
よろしくお願いします。

学校だより



教育研修 8/28~29

1年生は夏休み明け早々、「自主性・協調性を養うと共に、レクリエーションを計画する基礎知識を身につける」を目的に、由良町にある白崎青少年の家に教育研修に行きました。

出発時は小雨が降っていましたが、現地は晴天で学生が皆で企画したレクリエーションや食事の準備を行い学生間の交流も深まりました。

防災訓練 9/19

今年は、防災訓練として田辺消防署の消防士さんの協力をして頂き、初期消火・避難訓練を行いました。最近多い、スプレー缶による火災事故について講義をしていただき、屋内消火栓設備の使用方法的説明や水消火器を用いた消火活動を体験しました。

今後も臨場感ある訓練を実施していきたいと思ひます。

<今後の予定>

学校祭 11/1・2に学校祭を開催予定です。 皆さん、ぜひお越しください!!



病院のまど

第49回市民健康講座について

皆さん、お医者さんからいただいたお薬を正しく服用していますか？飲み方を間違えると効能が半減する場合や「副作用」が現れる事もあります。より良い治療のためのお薬の効能、効果、副作用などを病院薬剤師から学びましょう。

日時 平成26年11月16日(日)
午後2:00~3:00

演題 お薬の基礎知識

~正しく安全に

演者 木村 泰巳 使っていただくために~

(紀南病院副薬剤部長)

会場 紀南病院 3階講堂

編集後記

秋が深まりゆく季節となりました。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋と豊かな自然に恵まれた和歌山ならではの楽しみ方は色々あります。普段から自然の恩恵を受けている分、夏から初秋にかけて日本列島に多くの被害をもたらした痛ましいニュースに、いつ身近に起こるかかわからない自然災害の怖さを感じました。

何かと忙しい師走はもうすぐです。今年の締めくくりは、明るいニュースでありますように願っています。

Ki



daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	：〒641-0012 和歌山市紀三井寺855-71
紀三井寺事業所	：〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
大阪支店	：〒550-0002 大阪市西区江戸堀 3-5-27
南大阪支店	：〒594-0031 和泉市伏屋町2-16-11
紀南支店	：〒646-0011 田辺市新庄町3778-2
神戸支店	：〒650-0023 神戸市中央区栄町通5-2-6
奈良支店	：〒630-8115 奈良市大宮町4-295-10 奈良朝日生命川口ビル 1F
関西空港営業所	：〒590-0523 泉南市信達岡中919-1
新宮営業所	：〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-5-2 BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	：〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入 東丸太町32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

保健・医療・福祉の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。

 **SEIKO MEDICAL**
医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

■本 社 〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10 TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223	■田辺営業所 〒646-0011 田辺市新庄町2744番地 TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
■大阪支店 〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号 TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619	■新宮営業所 〒647-0072 新宮市峰伏20番22号 TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
■阪大前営業分室 〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13 TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781	■奈良営業所 〒832-0082 天理市荒崎町56番地の4 TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810